

みなさんは、日々、どこから情報を得ていますか。インターネットのサイトからですか。学校や教科書からですか。本や漫画からですか。それともSNSでのやりとりを通じてですか。いずれにしても、みなさんは、そのようにして得る情報の背後に、もっと膨大で複雑な現実があるのでは、と薄々気づいているのではないのでしょうか。

では、別のことをお聞きします。みなさんは、どんな情報が欲しいですか。面白いものですか。重々しいものですか。難しいものですか。分かりやすいものですか。刺激的なものですか。学校で教わるときや本を読むときに、望んでいることを思い浮かべてみてください。それは「分かりやすく、面白い」ことなのではないのでしょうか。さて、現実の世界は膨大で複雑です。しかし、私たちは「分かりやすく、面白い」ことを求めます。そうするとどうなるのでしょうか。答えは簡単です。膨大で複雑な現実が、切り取られて簡単にされ、面白く味付けされ、ねじ曲げられて私たちに届くことになります。

背伸び、してみましよう

歴史が教えてくれるのは、不幸な場合には、現実が誰かによって都合よくねじ曲げられ、私たちがそれを信じ込まされてしまうことです。私たちが、膨大で複雑な現実に対して「分かりやすく、面白い」ものを求めたとき、私たちが手にする世界は、一見、甘くて楽しいけれども、その実、現実に向いて満足を得るだけの、見通しのきかないものになります。例えるなら、広大な海の片隅に、小さな自分用のプールを作ってぼちゃぼちゃ遊んでいるような状態です。あるいは、苦くて甘くて辛くて酸っぱくて歯ごたえがある食べ物を、どろどろの離乳食にして口に入れてもらっている状態ともいえるでしょう。でも、私たちは、本当は、広く深く豊かな世界に生きているのです。しかるべき時期が来たら、広い海に出て、豊かな味を自分の歯と舌で味わいたくはないですか。

そのためには、背伸びをしてみる必要があります。背伸びをすることは、少しだけ冒険してみること、つまり難しい本に手を出してみること、堅いドキュメンタリー番組を見てみることに、重いニュースを聞くことに、自分を褒めてくれない人の話に耳を傾けることに、そしてそれらについてよく考えることです。私たちが知らぬ間に操ろうとするものの甘い言葉に騙されないために。そして何より自分自身のかけがえのない人生を自分で選び取って生きていくために。